

あおもり

社会福祉士会

だより 第57号



基礎研修Ⅲ（令和元年5月18日～令和2年1月5日 全11回）修了者28名

【基礎研修Ⅲ受講生の声1】

日頃の業務を漠然とこなしてしまいがちなところを、研修に参加することを通じて意識することができ、自分の身になっていると感じた。／毎週往復4～5時間+有料道路2千円弱、ガソリン代がしんどかった。終わってホッとする。仲の良い同職種ができてよかった。講師の方々がとても大変だと思った。ありがとうございました。

人との繋がりが増えた。ソーシャルワークを言語化して話していけるようになった。／すごいづらい、つかれると思って毎回参加していたけれど、毎回終わってみれば勉強になり、業務にとっても生かせるものが多く、参加して本当によかった。／基礎研Ⅲがない年があって、スムーズにⅢまでいかなかったのが残念。

【基礎研修Ⅲ受講生の声2】

研修・会議等への対応について

令和2年6月末までの間、新型コロナウイルスの感染防止として『3つの密』（密閉空間・人の密集・密接した距離）を避ける対応を行います。（それ以降は感染症の状況等を見ながら判断します）
※ 研修・イベントの中止や延期につきましては、随時本会ホームページにて掲載します。

新型コロナウイルス感染防止に関する取り組みについて

青森県社会福祉士会 会長 鳴海 春輝

新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて、病院や介護施設等の職場で日々奮闘している会員の皆様から敬意を表します。

さて、令和2年5月14日、国は、本県も含め39県の緊急事態宣言を解除することを決定しましたが、引き続き、感染拡大防止に最新の注意を払ひ、緊張感を持った取り組みを求めています。

このような状況で、本会の各委員会や支部活動については、研修会や会議等の中止や延期対応を取らざるを得ず、事業が思うように実施できないことから苦慮しているところです。もう

少しの辛抱とは思いますが、一方で「長丁場に備え、感染拡大を予防する新しい生活様式に移行していくことが必要」とも言われています。その対応策の一つとして、日本社会福祉士会からは、ZOOM等のwebツールを使用したオンライン研修での開催も提案されています。本会としても従来の方針にとらわれず様々な方策を考え、県民の福祉の向上に寄与していきたいと思っています。

最後に、本会会員の一人ひとりの御健康を祈念いたします。

5/31 県士会総会	条件付き実施 ※研修は中止
5月～ 基礎研修Ⅱ	無期限延期 ※全10日間予定
5月予定 中南支部会	中止 ※全10回予定
6月～ 基礎研修Ⅲ	無期限延期 ※全11日間予定
6月予定 支部総会 (中南・西北五 上十三・下北各支部)	中止 総会資料を配布
7月～ 成年後見人材育 成研修	無期限延期 ※7月に再度開催に ついて判断予定

基礎研修を受講しました！ ～基礎研修Ⅰ・Ⅱ受講生の声～

今回は下北支部の納谷 むつみさん、三八支部の堀内 落さんからお話を伺いました。



納谷 むつみさん (下北支部)

*なぜ基礎研修Ⅰを受講したのですか？

一学び直しです。拙い実践経験ですが、それを様々な福祉理論に照らし合わせて考え直すことで、倫理的葛藤を少しでも解消したい、と思い受講しました。社会福祉士としてフンドシを締め直したい、という感じです。

*受講してみていかがでしたか？

一大変だったことは、レポートです。考えていることを正確に言葉にすること、借り物ではなく自分の言葉で表現することが大変でした。

一悩みながら迷いながらも頑張っている社会福祉士さん達と近しくお話出来たのがよかったです。励まされました。

*今後の目標をお聞かせください

一基礎研修Ⅲまで受講してしっかり内省を深め、専門職としての「態度」を身に付け、どんな場面でも、どんな相手とでも、自立への過程を一緒に歩ける社会福祉士になりたいです。

*最後に、今後研修受講を考えている方、受講するか迷っている方へのメッセージをお願いします

一仲間とともに学ぶことは楽しいです。特に燃え尽きそうなベテラン社会福祉士の皆さまに受講をお勧めします。やる気再燃まちがいなしです。



堀内 落さん (三八支部)

*なぜ基礎研修Ⅱを受講したのですか？

一基礎研修Ⅱは長丁場ですし、基礎研修Ⅰの時に現場で働く先輩受講生が多かったため、受講するか迷いました。それでも研修Ⅰと一緒に受けた先輩方から誘っていただき、さらに同じ職場の先輩から研修の内容を聞き、なんとなくできそうかなと思い受講しました。

*受講してみていかがでしたか？

一大変だったことは、業務の忙しい時期と研修が重なってしまったことです。でもその時期の研修で悩みを周りの受講生に聞いてもらい、自分のストレングスに気付いたり、解決のヒントを得たりと助かりました。

一プライベートな研修でも対人援助をしている先輩方に本当に感謝しています。

*今後の目標をお聞かせください

一今年は基礎研修Ⅲが無期限延期となっていますが、開催時は受講し、成年後見の研修も受講したいと思っています。
一基礎研修で出会った先輩方との繋がりを絶やさないようにし、社会福祉士会の活動にもできるだけ参加したいと思っています。

*最後に、今後研修受講を考えている方、受講するか迷っている方へのメッセージをお願いします

一様々な領域の社会福祉士と繋り、ディスカッションすることで、業務の視点が変わってきます。重く考えずに、社会福祉士の仲間を作ろうかなという気持ちで受講すると良いと思います。ぜひ受講してみてください。

成年後見制度充実を県に要望 青森県社会福祉士会など



要望書を提出する青森県社会福祉士会の鳴海春輝会長(右) = 13日、県庁

認知症や知的障害などの理由で判断能力が十分でない人を支援する成年後見制度の利用支援事業について、青森県弁護士会(山内賢二会長)、県司法書士会(久保隆明会長)、県社会福祉士会(鳴海春輝会長)の3団体は13日、県庁を訪れ、同事業の充実などを県内各市町村へ周知するよう県に要望した。

同制度の利用支援事業は必要な経費の補助などを行うもので、各市町村が実施。対象を市町村長の申し立てに限る、常に判断能力を欠いた状態の「後見

類型」の人に限るなど制約も多い。厚生労働省が2018年度に行った調査では、同事業の補助を市町村長申し立てに限っている県内の自治体は20市町村で、地域ごとにばらつきがあった。

3団体が県に対し、各市町村へ周知するよう要望したのは、同事業について▽市町村長申し立て以外の事案も対象にする▽助成対象を後見類型以外の類型にも広げる▽障害者関係の予算拡充の一の3点。同様の内容を県内各市町村にも通知した。

鳴海会長は取材に「高齢化が進む中で、判断能力が十分でない人々への支援が大切な時代になる。要望を通して制度について周知していきたい」と話した。(2020.3.13 デーリー東北電子版より転載)



社会福祉士会東北研修大会（宮城大会）ソーシャルワーク実践報告会に参加して

宇佐美大輔（西北五支部）

令和元年10月26日・27日に宮城県仙台市で開催された、令和元年度・第25回の標記大会に、中南支部の田中大生さん・中村直樹さんとともに別表のとおり参加しました。

3分科会とも青森県から開始したため、田中さんと中村さんの発表が聞けず、大変残念に思いました。（笑）なお、1日目のパネルディスカッション「子どもの育ちを支えるソーシャルワーク～社会的養育について考え

る～」では、中南支部の佐藤優輝さんがパネリストでした。

私は、所属している権利擁護委員会での取り組みを発表させていただきました。県内各地から依頼があるものの、それを担う講師の養成がなかなか進まない現状や、今後はアドバイザーとしてフォローアップも担えるようになりたいといった点を発表させていただきました。

今回、実践報告を通じて、あらた

めて日ごろの自分自身の取り組みを振り返ることができ、他の県士会の会員の実践報告にもふれる良い機会となりました。今後も、実践を繰り返すだけでなく振り返る機会を作って行きながら、より良い支援に結び付けていきたいと感じました。（↓人材分科会で報告する中村さん）



委員会・部会に参加してみませんか

①主な活動内容②参加要件③活動頻度④メッセージ

権利擁護委員会

- ①養介護施設従事者向け高齢者虐待防止研修会の開催、出前講座への講師派遣、高齢者虐待・障害者虐待対応チームの運営などを行っています。
- ②特に要件はありません。
- ③おおむね、年3～4回程度の会合を開催しています。今年度はZOOMなどを使ったオンラインミーティングにも挑戦していきたいと思っています。
- ④研修会だけでなく、出前講座など幅広い活動が可能です！ぜひ、参加してみませんか？

ハンセン支援部会

- ①松丘保養園入所者との交流（観桜会、納涼祭等への参加）、ハンセン病問題に関する普及啓発活動、ハンセン病問題を題材にした、施設向けの社会福祉の倫理に関する出前研修の資料作成にも取り掛かっています。
- ②会員ならどなたでも参加できます。現在の部会員数は5名です。
- ③部会：年3回、行事：年2回程度
- ④ハンセン病問題を通じて、ソーシャルワーカーとしての価値や倫理について一緒に学んでみませんか？

生涯研修事業運営委員会

- ①基礎研修等の社会福祉士生涯研修の企画運営
- ②基礎研修(基礎Ⅰ～Ⅲ)修了者、現在15名
- ③会合：年約3回、実施研修：延べ年22回(分担制)
- ④修了者の皆さん、受講お疲れ様でした！今度は私たちと一緒に、学びを伝える側にまわってください！会員の社会福祉士としてのスキルアップを支援し、自分も成長できます。同じ体験をした仲間のつながりも強い委員会です。

ばあとなあ青森

- ①ばあとなあ青森
 - ②ばあとなあ養成研修修了者で名簿登録している方
 - ③運営委員会：年4回、三士会協議：年3回、活用講座年1回、フォローアップ研修：年1回、受任者面接各支部：年1回、養成研修3年に1回、受任者調整 等
 - ④各地域では権利擁護支援の連携のため中核機関設立の動きも見られます。意思決定することが困難な方の権利擁護支援のために成年後見の受任のみならず、専門職としてみなさんのノウハウが各地域で期待されます。社会福祉士としてやりがいのある活動ですので、ぜひ一緒にとりくんでいきましょう。
- ※募集するのは運営委員ではなく（リスクマネジメント部会、未成年後見部会、研修部会）です。

委員会・部会参加申込書

※FAXで事務局までお申し込み下さい 【FAX 017-752-6877】

所属支部： _____

氏名： _____

※希望する委員・部会に○をつけて下さい

権利擁護委員会 / ハンセン支援部会 / ばあとなあ青森 / 生涯研修事業運営委員会

その他の委員会・部会（委員会・部会名： _____）

新任事務局次長よりご挨拶

このたび、前任の石井敏子さんに代わって、事務局で働かせていただくこととなりました、宇佐美大輔と申します。私は、西北五支部に所属しており、これまで支部長や理事を務めさせていただきました。また、中期計画活性化委員会や権利擁護委員会などの活動にも参加させていただいております。

会の活動に関わらせていただいていた中で、どうしても会員と県士会＝事務局との距離感を感じてきました。それは、会員のみなさまも同じではないかと思えます。

そういった“溝”を少しでも解消すべく、会員の視点に立った事務局運営に取り組んでいきたいと考えております。

新型コロナウイルスに対する影響で多くの国民、県民が苦しんでいる今だからこそ、私たち社会福祉士に果たすことができる役割があると思えます。

みなさまと直接お会いできることを楽しみにしつつ、事務局からエールを送っていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします！

新入会員のご紹介

(令和元年10月～令和2年4月入会)

入会を歓迎します。よろしく願いします



中南支部

・斎藤 由紀子 ・白石 拓真 ・岩渕 ひとみ ・三上 洋平

東青支部

・藤本 樹 ・近藤 睦 ・米内山 幸治

下北支部

・佐藤 ひとみ ・古澤 啓子 ・木村 祥子

上十三支部

・山田 直樹

(敬称略)



●会員数情報

- * 令和2年3月31日現在
- * 会員数 621名
- * 入会率 31.7% (全国2位)

●寄付金情報

- (令和元年10月～令和2年3月末)
- * 件数 95件
- * 1,221,592円
- * ご支援いただきありがとうございます。

●メールアドレスの登録をお願いします。

- * 会員の皆さまへのお知らせや支部内での情報交換等を積極的に進めるため、メールアドレスの登録をお願いしています。
- * まだ、登録がお済みでない方は、事務局あてにメールでお知らせください。

●会員専用ホームページをご覧ください。

- * 本会ホームページには会員専用ページがあります。
- * トップページ画面右上の「会員専用」タブをクリックし、IDとパスワードを入力すれば閲覧できます。
- * 会員専用ページへのアクセス方法は、同封しているお知らせをご覧ください。

●住所、職場等の変更のある方へ

- * 会員情報を修正しますので、事務局に変更届を提出してください。
- * 本会ホームページのトップ左側から「入退会・変更届」のPDFをダウンロードして記入し、日本社会福祉士会にFAX送信してください。ご不明な点は事務局へお問い合わせください。

【編集後記】

締め切り迫る中、コロナの影響で集まることもままならず、LINEでやり取りしながらなんとか広報をお届けすることができました。ウチの委員会のチームワーク素晴らしい！

今回の記事から会員の皆様や各員会・部会の熱い気持ちが伝われば幸いです。

発行日 令和2年5月20日
発行人 鳴海春輝
編集 青森県社会福祉士会
中期計画活性化委員会

公益社団法人青森県社会福祉士会

〒030-0822
青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ内
TEL 017-723-2560 FAX 017-752-6877
http://www.aacsw.or.jp
E-mail aacsw@nifty.com

